

痛快本、紹介！

新型コロナウイルスで、県外に遊びに行けない、孫に会えない、みんなで集まって食事ができないなど、ストレスが溜まっていますか？ そんなときに気楽に読める痛快本を紹介します。

「カサウシろに振るやつ絶滅しろ！」

絶滅してほしい！？□迷惑生物図鑑

原案:氏田雄介 絵:武田侑大

制作:CHOCOLATE Inc.

(小学館、本体価格 1000 円)

日常でよく見る迷惑行為や古い慣習…。それらを古代生物や動物たちと合体させて、架空の生物に擬えています。

例えば、ぬれたカサを後ろに振って歩く「カサウシロフルス」、価値観押しつける「カチカンガルー」、圧力かけてくる「アツリヨクガマ」など、6つのカテゴリーに

久保田 安紀



全49匹の絶滅希望種が掲載されています。読んでいると思わず「あ～いるいる！」と納得すること必至です。

さらにこの本は、生物の独り言として、ちょっとおかしい彼らの本音や言い訳。生物の言い分(ぶん)に対して、主人公の少年の全力のツッコミなどがあり、読んでみると「これ自分かも？」と振り返ってみることもできます。

「常識や価値観は時代や状況によって変わるものですが、自分の考え方を見つめ直すことや周りの人々への想像力を働かせることの大切さは、今も昔も、これからも変わらないと思います。」と作者。

何年か後にこれらの生物が絶滅していることを希望します。



ぶんど梅

絵本の魅力

野上 千賀子



最近、朝のコーヒータイムに絵本を読んでいます。「絵本がひらく心理臨床の世界」という本で紹介されていた絵本を図書館で借りて読んだところ、とってもステキだったのです。

特に好きだったのは、ヒンガン作、三木卓文「ひとりぼっちのかえる」です。ひとりぼっちのかえるに太陽、雨、土、風、月が声をかけます。「ひとりぼっちで寂しくないのかい」と。さあ、かえるは何と答えるのでしょうか。

山本けんぞう文、いせひでこ絵の「あの路」も気に入りました。母親を亡くし、おばさんの家に引き取られた男の子が、3本足の犬と出会い、悲しみを乗り越えていく話です。ストーリーもいいのですが、いせひでこさんの絵がとても美しく感動しました。

絵本は子どもの読み物と思っていましたが、大人にこそ読んでほしいと思う本がたくさんあることに気が付きました。これからはらくは絵本の魅力にはまりそうです。

*ぶんど梅は創刊以来続いている会員のエッセーです。

研修部活動報告

今年度は新型コロナのため活動再開直後は主に Zoom を使ったオンラインの活用法を模索。その後感染対策を取りつつ主に第3土曜に学習再開。受験希望者から学習を増やしてとの声でお盆過ぎからはほぼ毎週自主学习をしてきました。

音源を使ってロールやノートテイクをする中で「書けない」「話に追いつかない」という声が毎回上がりました。そこで「追いつけない」「書けない」と思うのはなぜかを分析することにしました。一人だけが書いてそれを撮影し参加者が観察する方法です。

私たちは「書けない」理由が「漢字を書こうと手が止まる」「要約できずに文がまとまらない」「速く書けない」、「書けない」といっても原因が様々なら解決策も変わってくると先輩に相談。

一人ひとりのレベルアップを狙い、苦手を克服するために毎回学習しました。試験で力を出せない人は派遣でも力を発揮できない、派遣で書けない人は試験に合格できないを合言葉にとにかく、手を止めずに話に追いつき文をまとめて書くことを意識。基本的なことですがコツコツ積み重ねて学習することに大きな意味があると思いました。実力アップを目指し、学習を続けていきましょう。

(部長 久松 久仁子)

手書き



パソコン



今年度はコロナ禍で思うような学習会ができませんでした。主に Zoom を活用して連系の練習をしました。

でも対面でしなければ分からないこともあるので、人数制限のあるなかでセンターに集まり、学習会も行いました。全員で設定等の確認し共有することで、新しい事にも挑戦できるようになりました。

IPtalk でも遠隔支援ができるようになったので、これからは情報保障の在り方も変わるのではないのでしょうか。毎月第2・第4金曜日の学習会の際、パソコンと iPad の更新もしています。

また、学習会への参加が難しい人や遠隔の人もありますので、第1・第3火曜日の夜、Zoom による学習会も続けていきます。

都合のつく方はぜひ参加をお願いします。

(部長 仲摩 由美子)